



2023-2024年度  
RI会長  
ゴードン R. マッキナリー  
RIテーマ  
CREATE HOPE in the WORLD

国際ロータリー第 2830 地区

# 八戸北ロータリークラブ 会報

ガバナー ● 築館 智大 会長 ● 小林 弘文 幹事 ● 平野 薫 SAA ● 久保 隆明

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6 八戸プラザホテル内  
TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

<https://8kitarc.com/>

例会日：毎週火曜日 12:30 開会



11月 地ロータリー財団月間

vol.16

## 第 2548 回例会 2023.11.14

12:30 ~ 八戸プラザホテル  
司会：吉田美登紀副SAA

RIテーマ  
点鐘

- ・ロータリーソング
- ・クラブソング
- ・四つのテスト

(食事)

### 会長要件



小林弘文会長

先週、鎌倉能楽キャラバンがありました。ご参加された方、ご協力いただいた方、大変ありがとうございました。私的な感想としてすごく面白かったと思います。分からないところは字幕で解説していて、こういうものもあるんだと初めて見たんですけど興味が湧いてきました。不安だった座席の方も、早めに行って入ってくるお客さんを見ていたら、小さいお子さんから中学生、親御さん、座席が1階席のみだったんですけど7、8割ぐらい入っていたような気がします。浩々学園の園長先生も来てまして、「小中学校の題材で柿山伏の授業をしていて見たいと言う子がいて連れてきました。また機会があったらよろしくお願いします」ということでした。ご協力いただきお礼申し上げます。ありがとうございました。

だいぶ寒くなってきました。皆さん体調は大丈夫でしょうか。テレビで5年、10年後には四季から二季、冬と夏に代わるかもしれないという話をしました。秋と春を感じられなくなるかもしれません。これから寒くなる冬、皆さんご自愛ください。

先週の土日、RLIがあった日、青森で初雪が降りました。所用で津軽の方に行って、みちのく有料道路は道路脇に少し雪があったんですけど市内は無かったので走れました。これから寒い時季ですので皆さん気を付けていただければと思います。

RLI、ロータリー・リーダーシップ研究会は、リーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化するためのプログラムです。今回は中山会長エレクトと大崎次期幹事の2人が参加しました。あとで中山会員から感想をいただきたいと思います。

今日はロータリー財団の卓話です。源新育子会員に急遽お願いして資料を作っていただきました。よろしくお祈りします。今日、「今月はロータリー財団月間です」というメールが来てました。寄付をしましょうという内容でしたので、よろしければご協力お願いいたします。

最後に、本日、理事役員会があります。案件は、クリスマス家族例会について相談したいと思いますので、理事役員の方よろしくお祈りします。

### 幹事報告

吉田悦子直前幹事



◎ガバナーより大規模災害時対応について青森県、八戸市とロータリークラブとしての対応を協議中

### 親睦委員会

片野 潤会員



#### ニコニコBOX

田村隆直会員：早退失礼します。

#### 米山記念奨学金

- 奥井義則会員：
- 澤口忠彦会員：
- 吉田悦子会員：
- ポリオ・プラス
- 千葉清彦会員：

### 出席報告

本日の出席率 65.8%  
前々回 (10 / 31) の修正出席率 63.2%

### RLI報告

中山恵美子会長エレクト



ロータリー・リーダーシップ研究会の1日目に参加しました。私と大崎会員は5年ほど前にも参加したことがあって、その時

に比べると人数がすごく少ないなと感じました。前回の半分ほど26名の参加でした。5つの分科会があるんですが、1分科会4、5人という状態でした。ファシリテーターの方からは「逆に人数が多すぎず皆さんが意見をたくさん出してきて良かった」という感想をいただきました。

私が印象に残ったのは、以前は名札をつけていましたが、今回はテーブルに置くタイプの席札を持ち歩く形でした。名前の他に入会してから年数が書いてあって、裏側には注意事項が書いてありました。源新パストガバナーが最初にオリエンテーションでおっしゃった8か条の項目が常に目の前に見えている状態で、コミュニケーションの基本的なことが書かれていました。

懇親会でもグループセッションがあって、くじ引きで話し合う内容を決めて各グループで発表しました。発表が終わった後に私と同じテーブルの方に勧められて、「我がクラブは女性会員が2割以上いるが現状はどうか」という話をして順に話を振っていったら、吉田ガバナー補佐から「八戸RCでは女性だけの衛生クラブを作ろうとしている」というお話を聞くことが出来ました。

初雪の日でみちのく有料道路は雪がありました。今後、青森に行く機会があると思いますけど、皆さんも足元が悪いので十分注意していただきたいと思います。

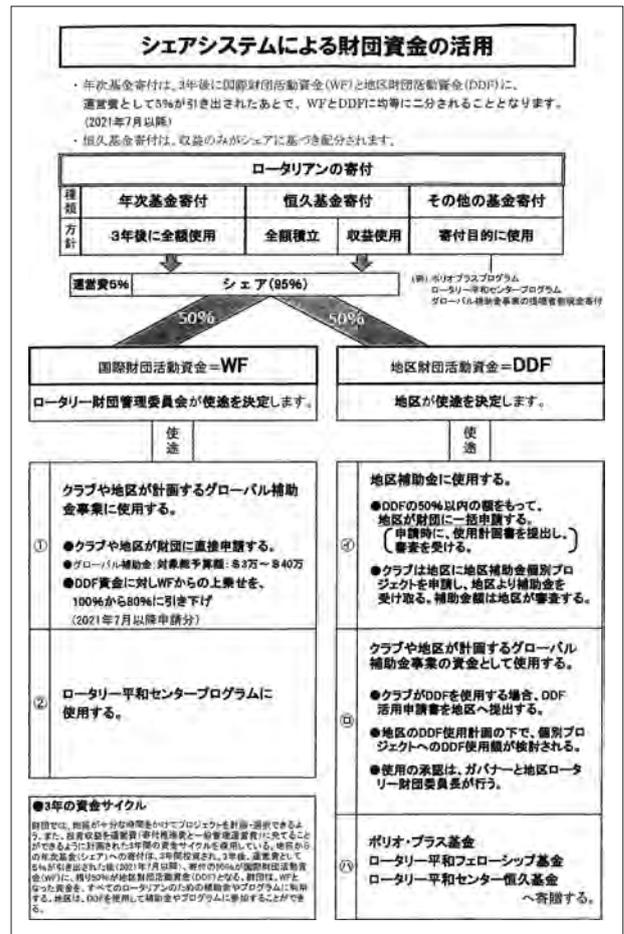
## 卓話「ロータリー財団」 源新育子会員



皆さんこんにちは。小林会長より財団月間に何か卓話をとお話しいただき、慌てて資料を用意してきましたが、財団については個々に理解がどこまで出来ているかが難しく、今日は入会間もない方もいらっしゃるの基本的な事を中心にお話ししたいと思います。一枚目の資料は2021年7月1日から運用されているもので、おそらく昨年度の川崎グローバル委員長の卓話でも出てきたと思いますが、現在のシェアシステムの表です。2017年度から変わったところがあります。この1枚で財団の資金の流れは解ると思います。それを少しかみ砕いてご説明いたします。

ロータリー財団については次のページに書かれている通りで、1905年にロータリーが誕生し、1917年にアーチC・クランプが「世界で良いことをしよう」と提案し26ドル50セントで基金を設立しました。ロータリー財団としてはポール・ハリスの死後に、「ポールハリス基金」が設置され、ポールの死を悼む人々の寄付が130万ドル以上集まり、その年に最初の財団プログラム（国際親善奨学生）が実施されました。

ロータリーの寄付の種類は大きく3つに分かれています。資料に書いてある通り寄付の基盤である年次基金は寄付して3年たってから使用できます。私たちのクラブは会費の中に含まれているので、気に



ならないと思いますが、事務局がまとめて地区目標の一人150ドルが全員分寄付されています。次は使途指定寄付ですが、ポリオプラスや予め使い道が決められている寄付で、地区目標は30ドルで個人にゆだねられています。3つ目に書いてある恒久基金は一度に1,000ドルの寄付が必要で、「ベネファクター」という称号が与えられます。称号についてはたくさんあるので、また機会があればご説明いたします。

シェアシステムも2021年7月から変更になったところがいくつかあります。まず3年前の運用可能金額から5%の運営費が差し引かれ、DDF(地区活動資金)とWF(国際活動資金)に半分されます。またグローバル補助金プロジェクトにはWFから同額補助の上乗せがありました。ところが80%に引き下げられました。さらに未使用のDDFは5年のうちに使ってしまうと没収されます。

このようにロータリー財団は私たちの寄付により成り立ち、誰かのために使われていますが、逆に私たち自身がお金には代えられないたくさんの感動や体験、仲間との出会いなどたくさんの贈り物を頂いているように思います。一人一人財団を通してロータリーを考える意味ある時間にしていただきたいと思います。

以上、簡単ですが説明させていただきました。

点鍾

(誤字脱字がございましたらご容赦ください)